

ADCA NEWSLETTER (2023.3)

令和4年度 第3回ADCA農業実践研修

テーマ：「農家家計調査の基本と実践」

2023年2月22日(15:00~17:00)に令和4年度 第3回ADCA農業実践研修を実施しました。今回はオンライン形式で実施し、ADCA会員企業から15名以上のご参加を頂きました。本研修の講師には、千葉大学大学院園芸学研究院より2名の農家家計調査の専門家をお招きし、農家家計調査の基礎となるアカデミックリサーチの概論(調査手法)から、具体的な調査の流れ、またフィリピン国において調査手法を取り入れた実践につき講義を頂きました。限られた時間ではありましたが、農業農村事業で実際に使える調査手法やコンサルタント業務に沿った実践的講義もあり、今後業務へ活かしていける有意義な研修になりました。

背景

「ADCA農業実践研修」は、会員の農業技術習得と意見交換を目的として、会員企業の若手で構成されるADCA青年会議が自主的に企画・運営をしながら、毎年開催しています。

今回は、農村地域開発事業の事業策定及び事業効果測定のために必要不可欠な調査について知見を深めるため、「農家家計調査の基本と実践」というテーマで外部講師を招き、本研修を企画しました。

研修の目的

本研修は、学術的視点から農家家計調査の手法とその実践内容を学ぶことにより、今後の農村地域開発事業のより良い計画策定と実施及び評価に資することを目的としました。

概要

講義1(農家家計調査の基本)では、丸山氏から農家家計調査を実施する上での調査設計やサンプリング方法、調査結果の取り纏め方について講義を頂きました。また、途上国で調査を実施する際の流れ(文献調査、仮説の設定、サンプリング方法・サンプリングサイズ・分析手法の決定、プレテスト、本調査、データ前処理)等、よりコンサルタント業務に沿った実践的な講義もして頂きました。

講義2(Case study)のKristine Mercado氏からは、同氏の研究調査地であるフィリピンの事例や、フィリピンにおける農業発展の課題等を実務経験から具体的に解説を頂きました。

プログラム

【講義1 農家家計調査の基本(日本語)】丸山氏

- ・因果関係の検出とサンプリング
- ・調査票の作り方と調査結果の取りまとめ方
- ・質疑応答

【講義2 Case study (英語)】Kristine Mercado 氏

- ・ A case study using farmers' survey (Determinants of Technical and Allocative Efficiency of Rice Farming: A case of Jones, Isabela, Philippines)
- ・ Current Challenges in Philippine agricultural development
- ・ Q&A session

講師

丸山 敦史 氏

千葉大学大学院園芸学研究院 教授

Kristine Mercado氏

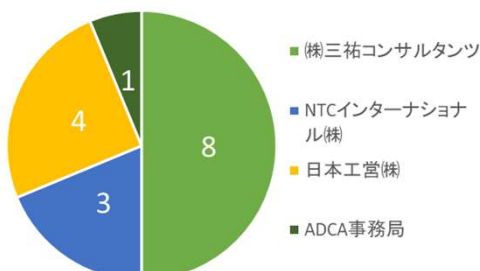
千葉大学大学院園芸学研究院 博士前期課程、フィリピン農業省職員

研修の様子



参加者アンケート

(1) 参加者の所属



(2) 講義で印象に残った内容

- ◆ 一連の調査プロセスを理解できた点良かった。また、データクリーニングの詳細など、実用的な面も聞いて良かった。
- ◆ 研究とODAプロジェクトでは求められる精度(学術研究かそうでないか)が異なるので、その違いについてもさらに知りたいと思った。
- ◆ サンプル数の考え方とG-Powerのお話が興味深かったです。
- ◆ 講義1とは対照的に、講義2でノンパラメトリック手法の実例を聞いてよかった。また、フィリピンの行政官の方から生の情報を聞いたこともよかった。

(3) 今後の業務や研究等に活かしたい内容

- ◆ 調査の実施する際、サンプルサイズの決定やデータクリーニング等の統計学的な観点を持ちながら、調査設計・実施・結果分析を行っていききたい。
- ◆ 丸山先生の話の中のサンプル数の決定や選択バイアスの話などは調査設計の際に役立てたいと思う。
- ◆ 講義1で学んだ調査プロセスや注意点を実際の業務に活かしたい。また、講義2の内容を深掘りしてノンパラメトリック手法を勉強するきっかけにしたい。
- ◆ 公共事業の便益を評価する際に利用したいと思う。
- ◆ プロジェクト評価を行う上で農家調査は避けて通れない項目だと思う。今回の研修を踏まえて、調査計画を検討する上で「外してはいけないポイント」を意識して実施していきたい。(例: サンプルサイズの検討、データクリーニング、事前準備)。